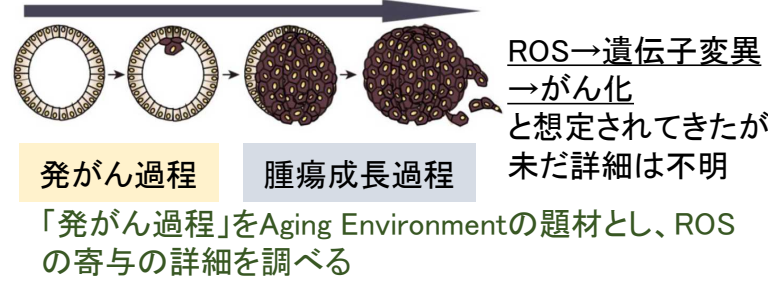
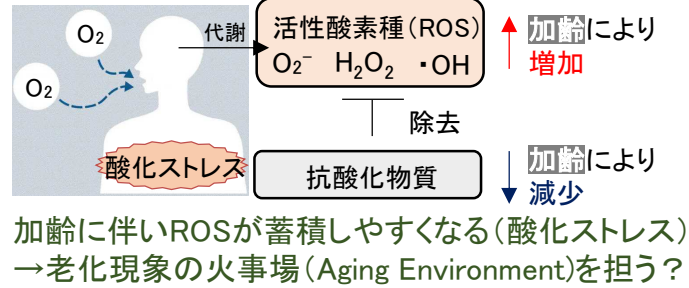


# 新規腫瘍内H<sub>2</sub>O<sub>2</sub>可視化技術から迫る酸化ストレスが発がんに及ぼす影響の本質的理解 (高橋 重成/京都大学)

## 背景

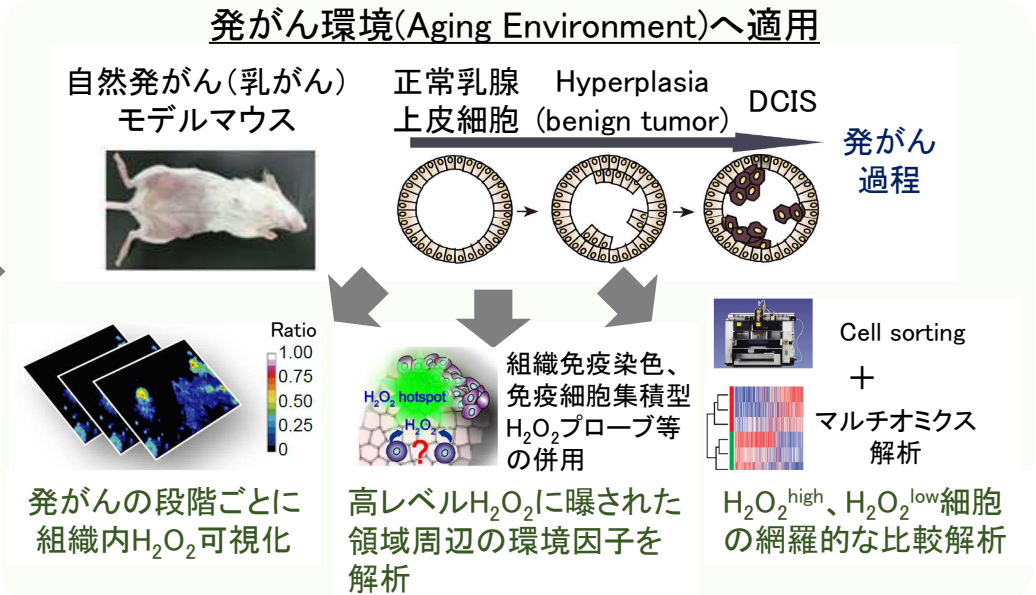
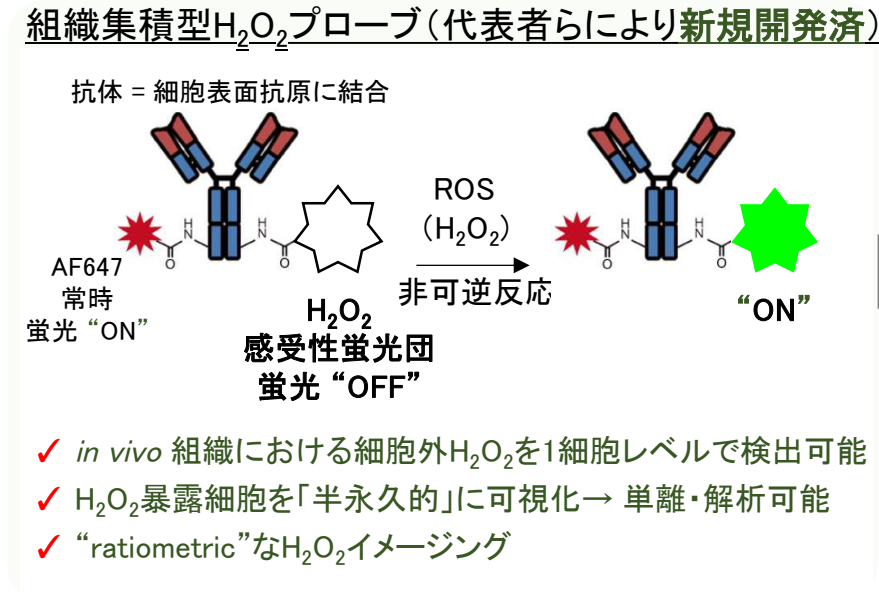


**問題点**

- ・in vivo組織内ROS 検出技術の欠如
- ・近年の遺伝子解析技術 単独では研究は困難 (ゲノムにコードされない)

技術的ブレイクスルーが必要

## 目的方法



## 基礎的到達

発がん過程において、ROS (H<sub>2</sub>O<sub>2</sub>)がいつ・どこで・どのように発生し、曝露した細胞にどんな影響を与えるのかを解明

依然として漠然とした理解に留まっている ROSが発がんに及ぼす影響の本質的な理解に迫る

## 医療への展開

ROSに基づく加齢性疾患研究に欠けていた基盤情報をもたらし、効果的な創薬開発を促進。 予防・治療に貢献